



令和5年度 伊勢志摩地域における 進路や将来的な定住の意向に関する 高校生アンケート調査 結果報告書

志摩市・伊勢市・鳥羽市・玉城町・度会町・南伊勢町
【事務局】志摩市産業振興部商工課

令和6年2月

目次

0 1	調査概要	P.3
0 2	回答者属性	P.4.5
0 3	アンケート回答結果	P.6～.20
	①地域への愛着心	
	②地域への定住意思	
	③将来、出身地に戻る時期・タイミング	
	④希望進路	
	⑤希望業種	
	⑥希望企業の条件	
	⑦進学または就職を希望する地域	
	⑧出身市町外を希望する理由	
	⑨三重県外で希望する地域	
	⑩出身市町外を希望する理由	
	⑪将来、出身市町内やその周辺市町に戻る可能性	
	⑫戻る意思（可能性）がある理由	
	⑬出身市町に戻るために必要なもの	
	⑭出身市町に住み続けるために必要なもの（自由記述）	
0 4	アンケート様式	P.21

01 調査概要

目的：現在、伊勢志摩地域は、若者世代の人口流出と高齢化が進行しており、今後、地域の活力が低下し、地域社会そのものが維持できなくなることも危惧されています。

伊勢志摩地域の今後を担う高校生の進路や将来的な定住の意向を把握し、各市町が今後の雇用対策の取り組み及び企業誘致戦略等に活用するため、本アンケート調査を実施しました。

実施期間：令和5年10月25日（水）～12月22日（金）

対象者：伊勢志摩地域の高校2年生 1,959人（計15校）

【南勢地区県立高校】

宇治山田高校、伊勢高校、伊勢工業高校、宇治山田商業高校、明野高校、南伊勢高校、鳥羽高校、志摩高校、水産高校、伊勢まなび高校

【国立高等専門学校・私立高校】

鳥羽商船高専、皇学館高校、伊勢学園高校、英心高校、代々木高校

回答方法：アンケート用紙を各学校に配布し、郵送又は訪問により回収

回答数：1,839人（回答率：93.87%）

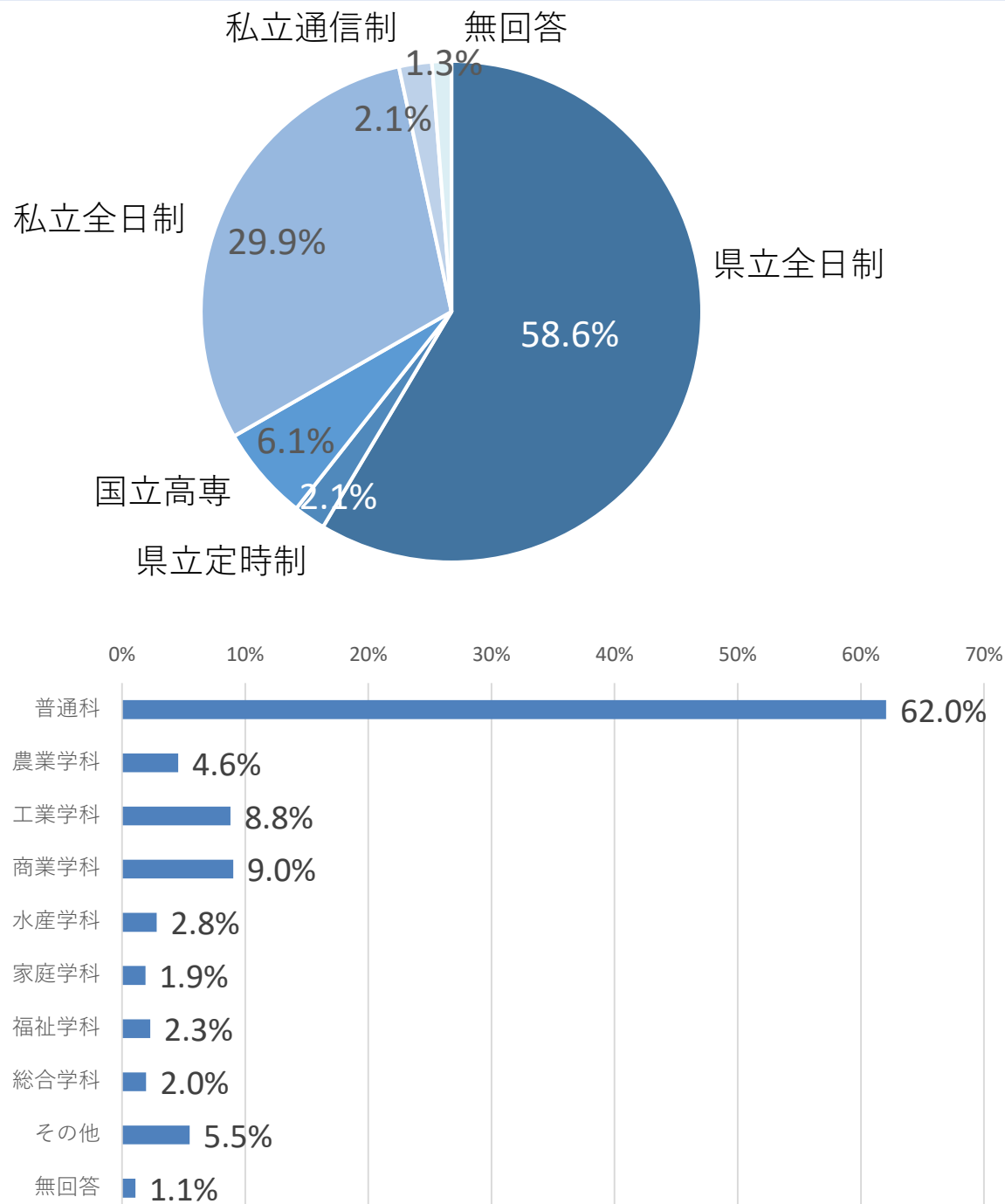
02 回答者属性

通っている高校の種別

	人数
県立全日制	1,077
県立定時制	38
国立高専	112
私立全日制	550
私立通信制	39
無回答	23
合計	1,839

所属する学科

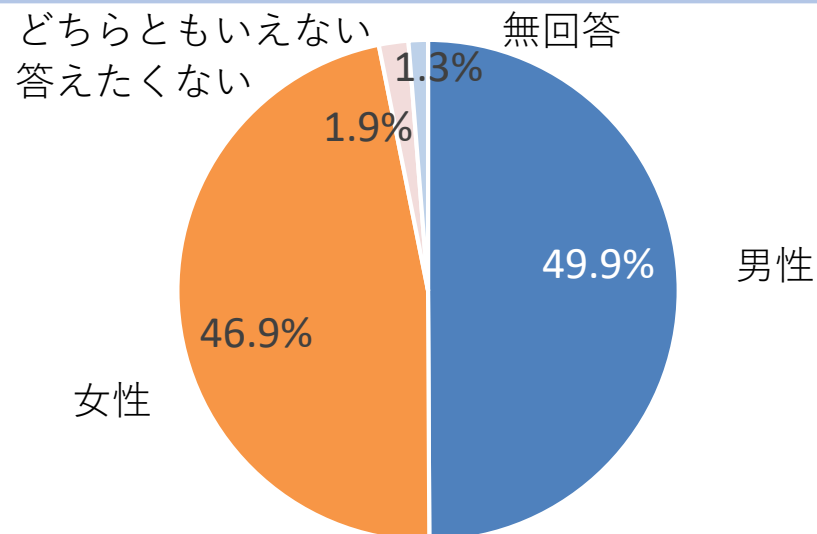
	人数
普通科	1,141
農業学科	84
工業学科	162
商業学科	166
水産学科	52
家庭学科	35
福祉学科	42
総合学科	36
その他	101
無回答	20
合計	1,839



02 回答者属性

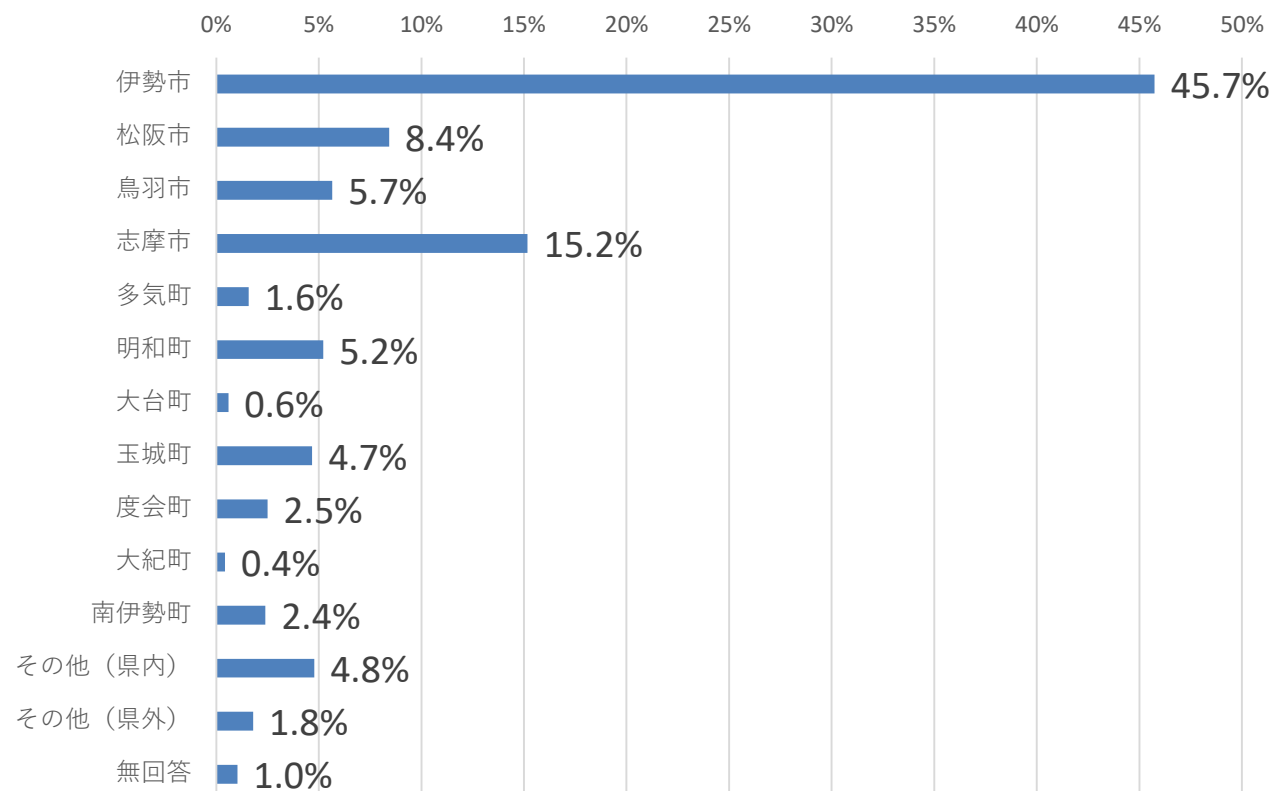
性別

	人数
男性	918
女性	863
どちらとも言えない 答えたくない	35
無回答	23
合計	1,839



自分が住んでいる地域（出身市町）

	人数
伊勢市	841
松阪市	155
鳥羽市	104
志摩市	279
多気町	29
明和町	96
大台町	11
玉城町	86
度会町	46
大紀町	8
南伊勢町	44
その他（県内）	88
その他（県外）	33
無回答	19
合計	1,839



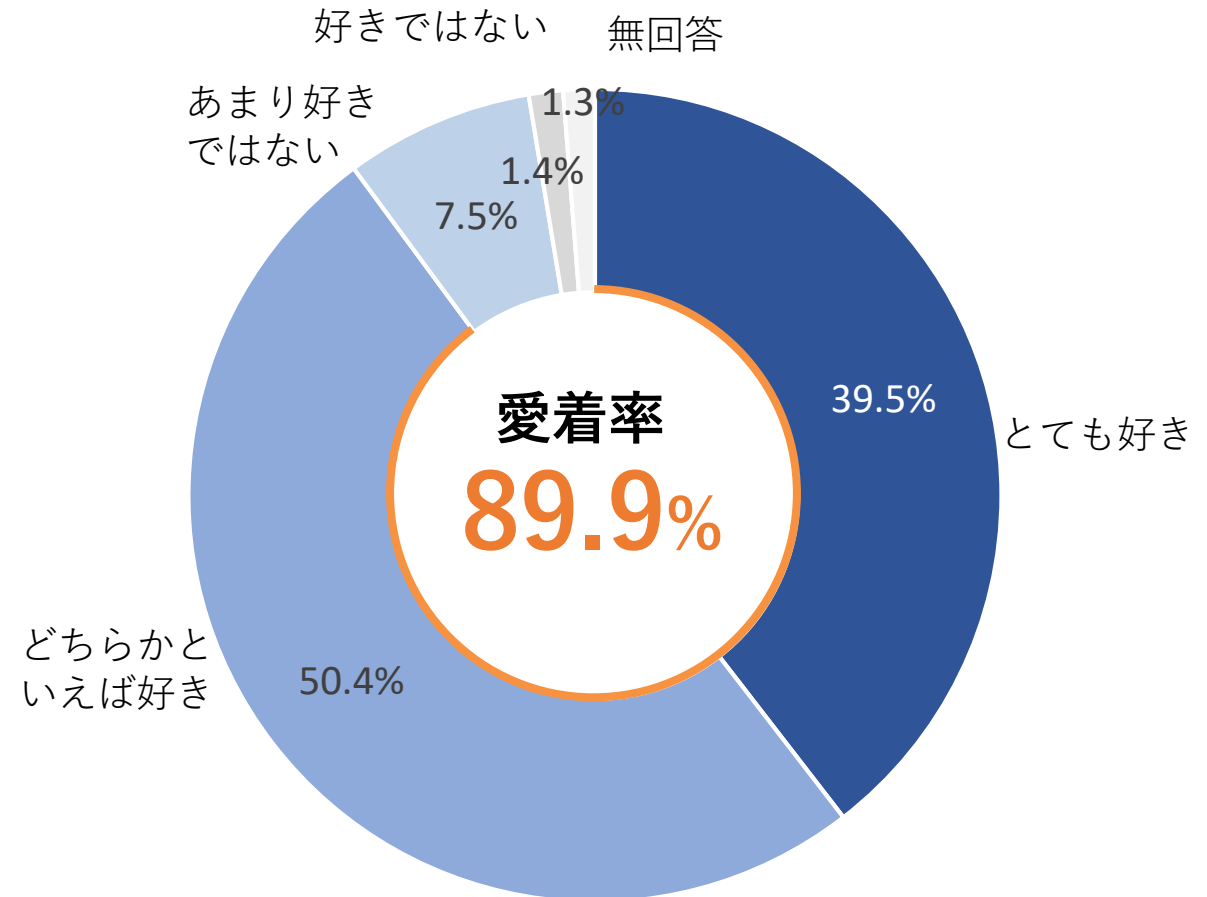
03 アンケート回答結果

①地域への愛着心

自分が住んでいる地域（出身市町）のことが好きですか

- ▶「とても好き」39.5%と「どちらかといえば好き」50.4%を合わせて、89.9%が自分が住んでいる地域のことが好きと回答しており、令和4年度の同アンケート調査結果と比較すると同水準となっています。

	人数
とても好き	727
どちらかといえば好き	926
あまり好きではない	138
好きではない	25
無回答	23
合計	1,839

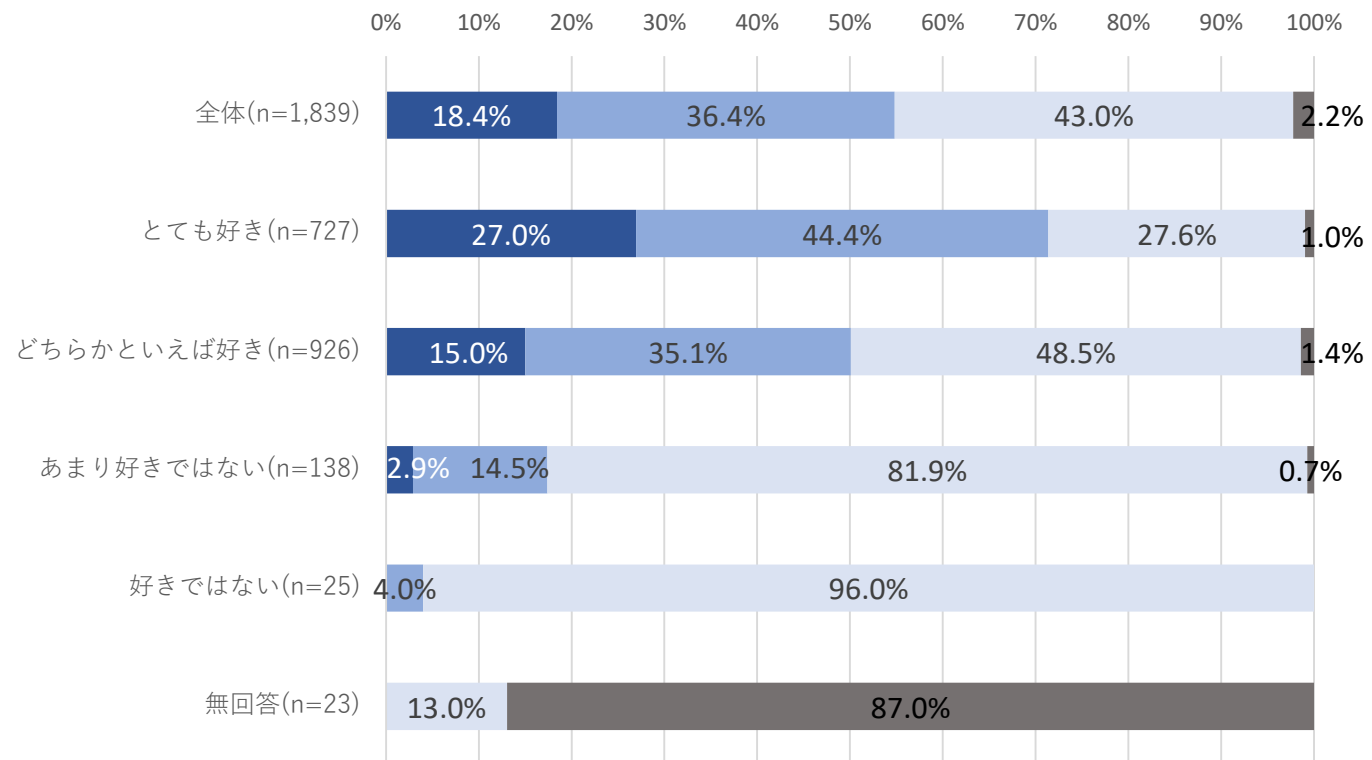


②地域への定住意思

自分が住んでいる地域（出身市町）に住み続けたいですか

- ▶ 過半数が、一度でも自分が住んでいる地域から出ることを想定しており、「住み続けたい」を選んだ人は、全体の18.4%でした。
- ▶ 自分が住んでいる地域のこと「とても好き」と回答した人のうち、「住み続けたい」、「一度他の地域へ出た後、将来的に戻ってきたい」と回答した人は71.4%、「どちらかといえば好き」及び、「あまり好きではない」と回答した人のうち、同様の回答をした人は、それぞれ50.1%、17.4%となっていることから、愛着心が定住意向に影響している結果となりました。

	人数
住み続けたい	339
一度他の地域へ出た後、将来的に戻ってきたい	669
住み続けるつもりはない	790
無回答	41
合計	1,839



(参考)

令和4年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート ■住み続けたい ■一度他の地域へ出た後、将来的に戻ってきたい ■住み続けるつもりはない ■無回答

<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

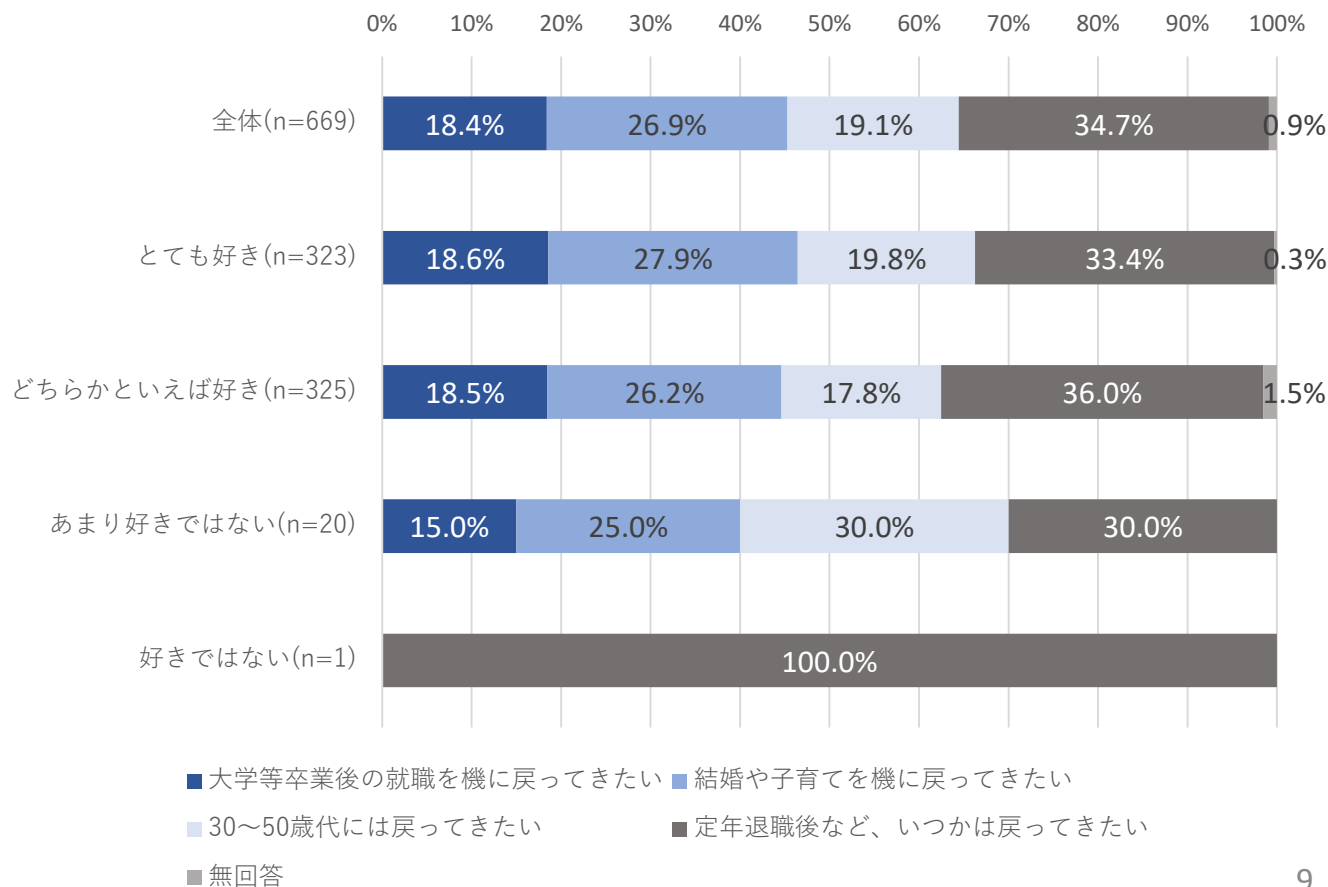
③将来、出身地に戻る時期・タイミング

将来的にいつ頃出身地に戻りたいと考えていますか

(②「将来的に戻ってきたい」回答者)

- ▶「定年退職後など、いつかは戻ってきたい」が34.7%と最も多く、次いで「結婚・子育てを機に戻ってきたい」が26.9%、「30～50歳代には戻ってきたい」19.1%、「大学卒業後の就職を機に戻ってきたい」18.4%の順に多くなっています。

	人数
大学卒業後の就職を機に戻ってきたい	123
結婚や子育てを機に戻ってきたい	180
30～50歳代には戻ってきたい	128
定年退職後など、いつかは戻ってきたい	232
無回答	6
合計	669

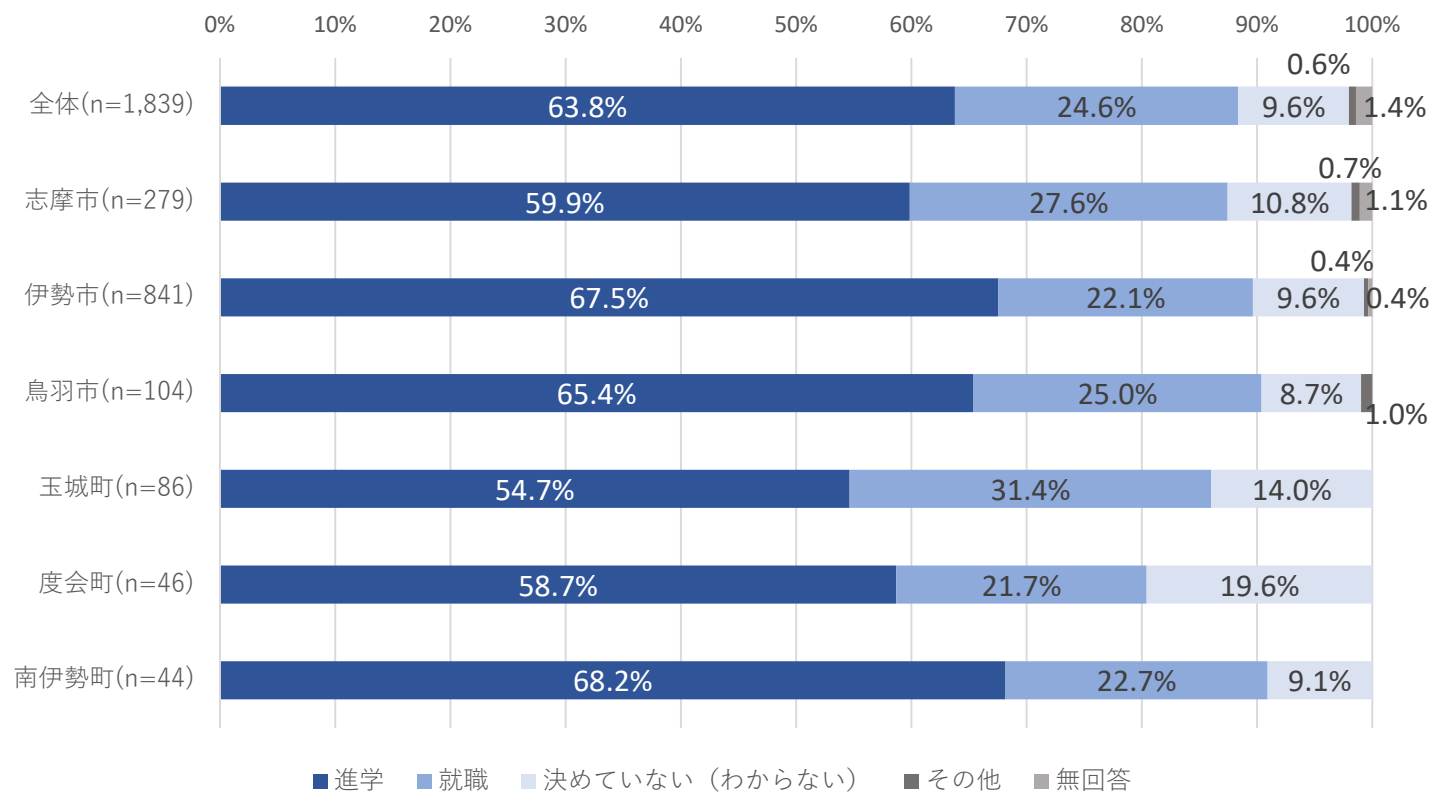


④希望進路

希望する進路

▶「進学」63.8%が「就職」24.6%の約2.6倍の数値となっており、令和4年度の同アンケート調査結果と比較すると同水準となっています。

	人数
進学	1,173
就職	452
決めていない (わからない)	177
その他	11
無回答	26
合計	1,839



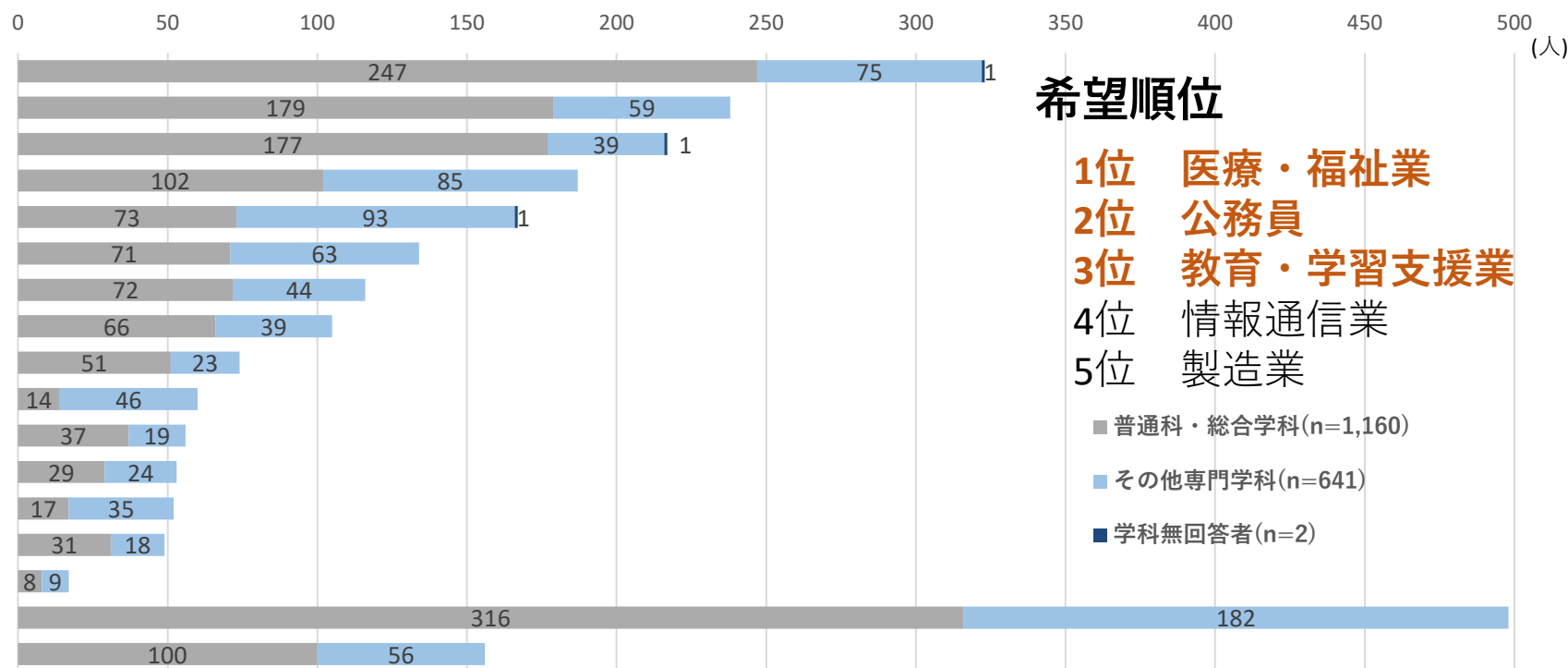
⑤希望業種

将来、就職を希望する業種（仕事内容）

※複数回答可

- ▶「医療・福祉業」が323人と最も多く、続いて「公務員」238人、「教育・学習支援業」217人の順となっています。
- ▶令和4年度の同アンケート調査結果と比較してもTOP5の希望業種は同じで、3位と4位が入れ替わる結果となっています。
- ▶「その他」の自由記述では、「音楽・芸術系」「研究職」「デザイナー」等の回答がありました。

n=1,804（無回答除く）	人数
医療・福祉業	323
公務員	238
教育・学習支援業	217
情報通信業	187
製造業	167
宿泊業・飲食サービス業	134
生活関連サービス業	116
娯楽業	105
建設業	74
運輸業・郵便業	60
卸売業・小売業	56
農業・林業・漁業	53
電気・ガス・熱供給・水道業	52
金融業・保険業	49
不動産業・物品賃貸業	17
決めていない	498
その他	156



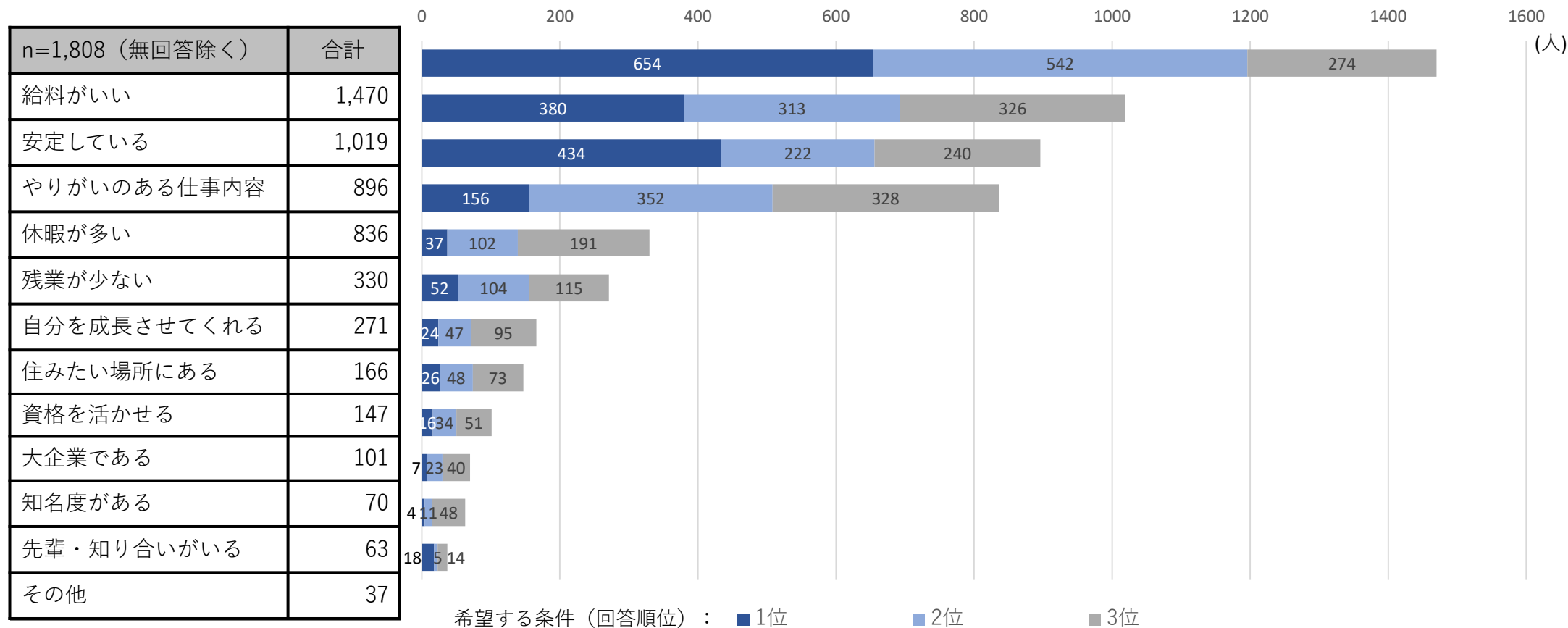
(参考)

令和4年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

⑥希望企業の条件

将来、就職を希望する企業の条件 ※上位3つ回答

- ▶ 令和4年度の同アンケート調査結果同様、企業規模や知名度よりも「給料がいい」1,470人、「安定している」1,019人といった生活基盤に関連する回答が多くなりました。
- ▶ 続いて「やりがいのある仕事内容」が896人と多く、「休暇が多い」836人、「残業が少ない」330人といった職場環境に関連する内容が続いています。
- ▶ 「その他」の自由記述では、「家から通える」「やりたい仕事だから」等の回答がありました。

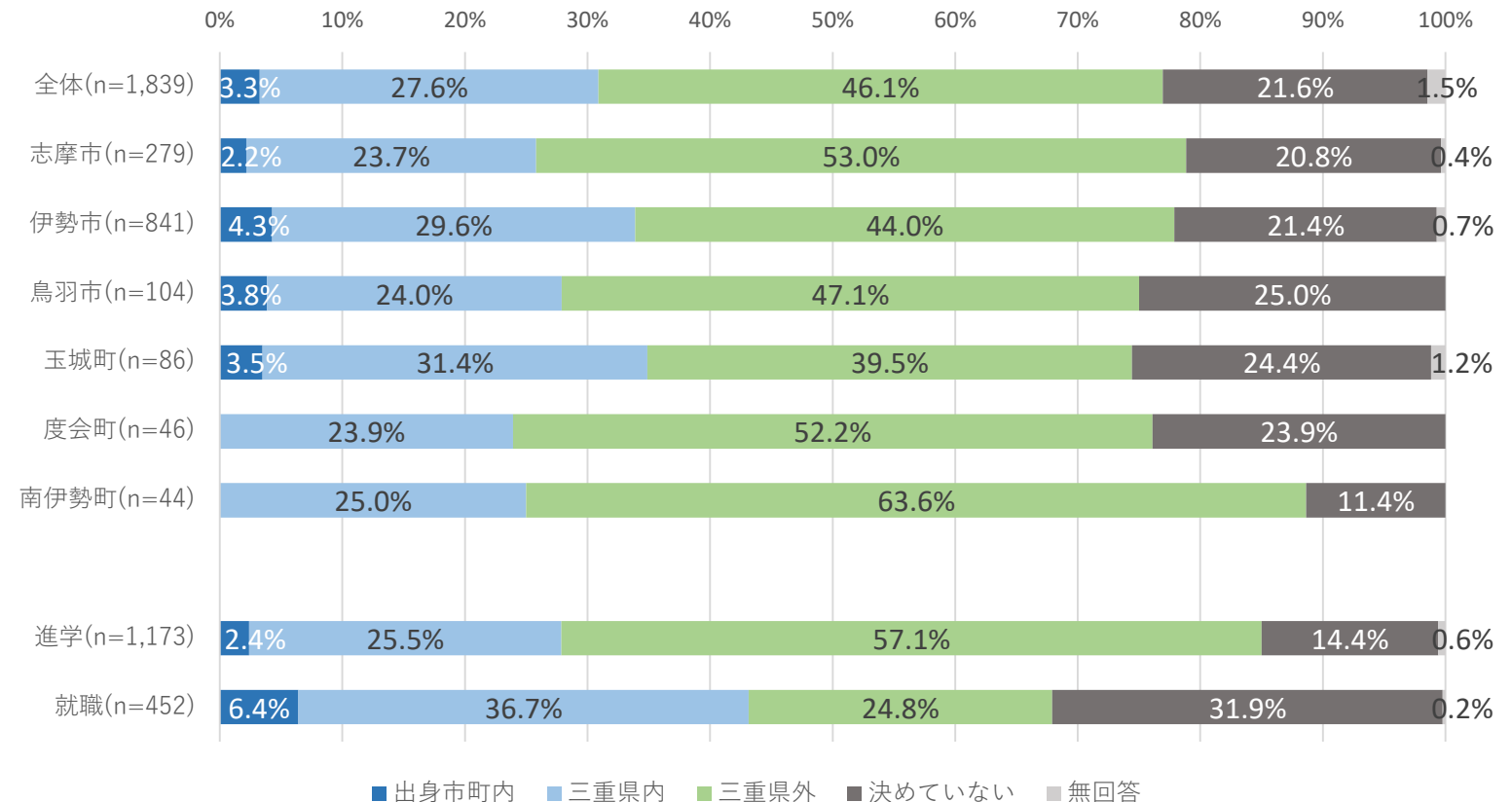


⑦進学または就職を希望する地域

高校卒業後に進学または就職を希望する地域

- ▶「三重県外」が46.1%と最も多く、約2人に1人が進路として県外を希望しています。続いて「三重県内」「決めていない」「出身市町内」の順に多くなっています。
- ▶令和4年度の同アンケート調査結果と比較すると、三重県外を選択した人が9.9%増加する結果となりました。
- ▶希望進路別では、進学希望者は「三重県外」、就職希望者は「三重県内」を希望する割合が高くなっています。

	人数
出身市町内	60
三重県内	508
三重県外	847
決めていない	397
無回答	27
合計	1,839

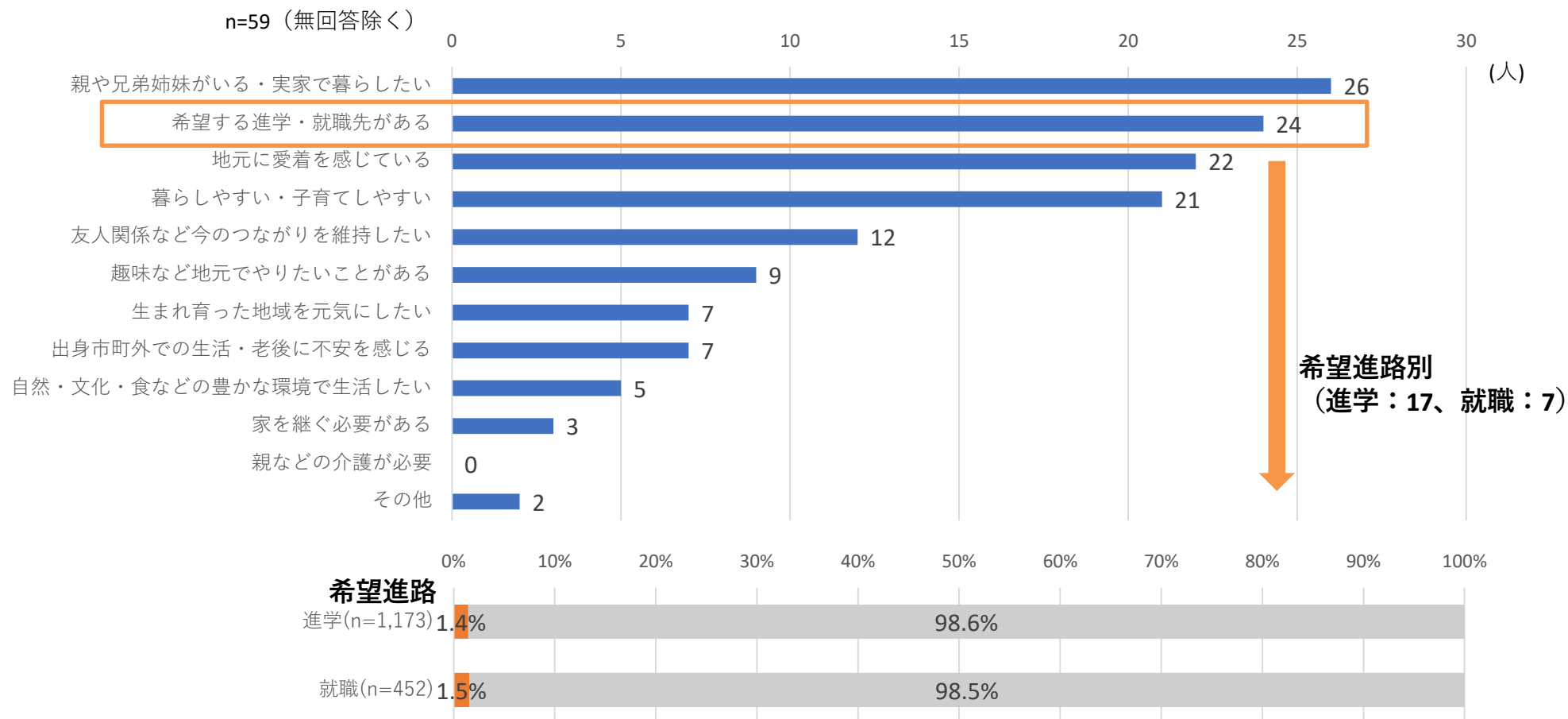


⑧出身市町内を希望する理由

出身市町内への進学または就職を希望する理由

(⑦「出身市町内」回答者) ※3つまで回答可

- ▶ 「親や兄弟姉妹がいる・実家で暮らしたい」が26人と一番多く、「希望する進学・就職先がある」24人、「地元に着愛を感じている」22人の順に多くなっています。
- ▶ 希望進路として「進学」又は「就職」を希望する人のうち、それぞれ1.4%、1.5%の人が「希望する進学・就職先がある」という理由により、出身市町内への進学または就職を希望しています。



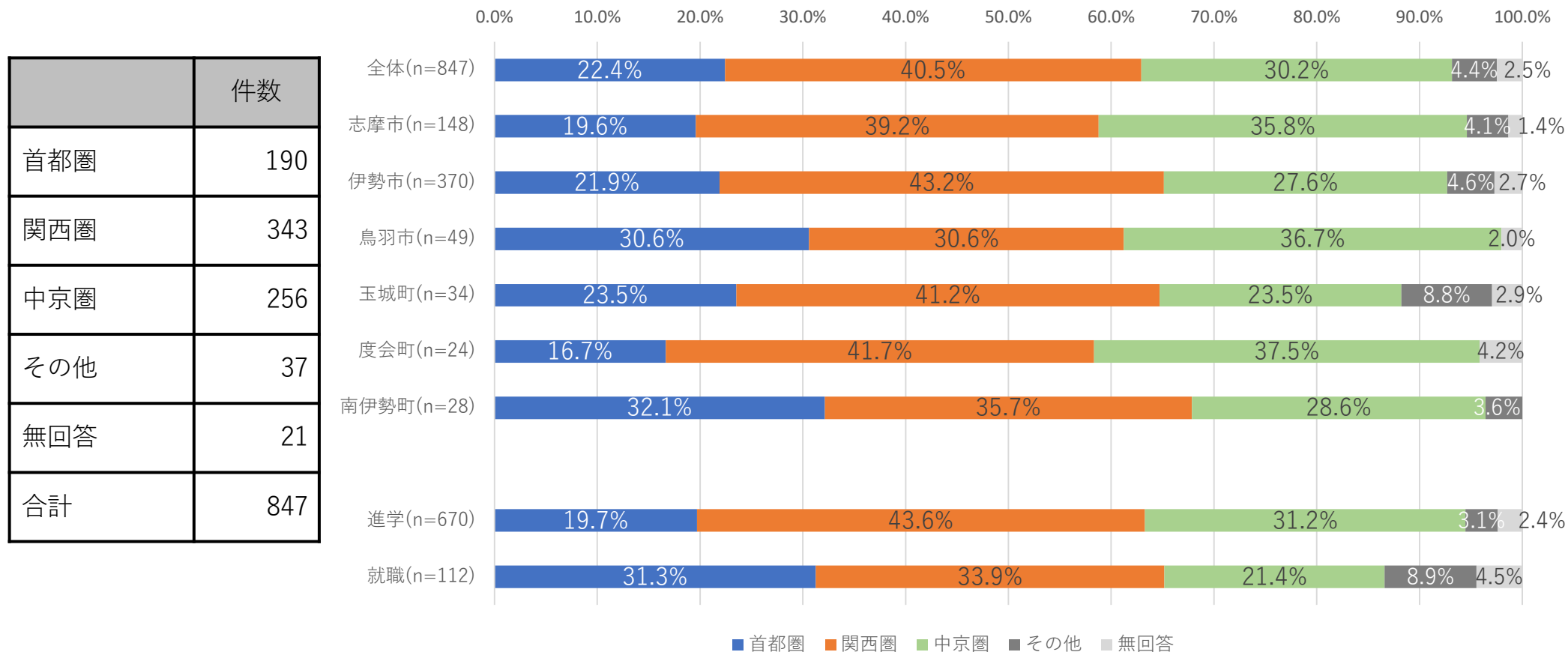
(参考)

令和4年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

⑨三重県外で希望する地域

三重県外で進学または就職を希望する地域 (⑦「三重県外」回答者)

- ▶「関西圏」が40.5%と最も多く、続いて「中京圏」30.2%、「首都圏」22.4%の順に多くなっています。
- ▶出身市町別で比較すると、「首都圏」では南伊勢町が32.1%、「関西圏」では伊勢市が43.2%、「中京圏」では度会町が37.5%とそれぞれ最も高くなっています。

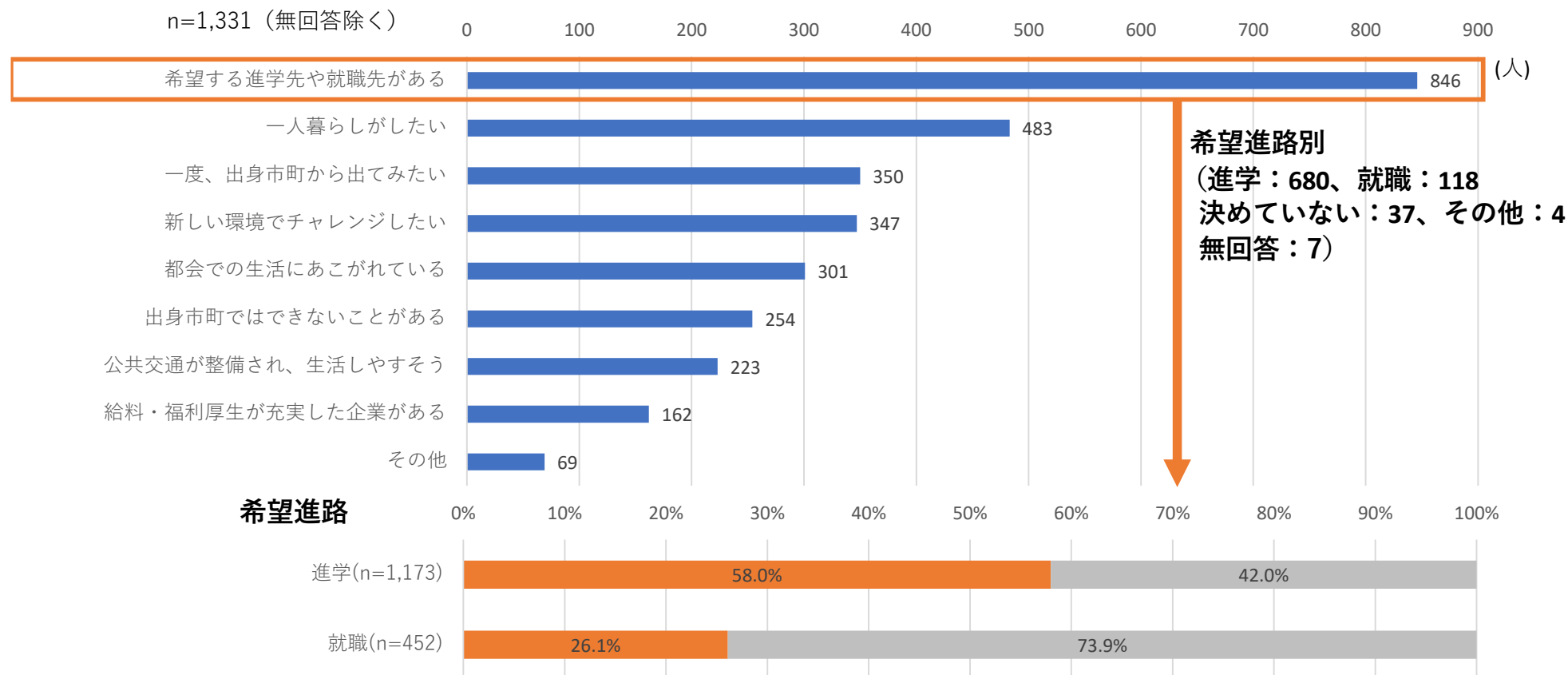


⑩出身市町外を希望する理由

出身市町外に進学または就職を希望する理由

(⑤「三重県内」または「三重県外」回答者) ※3つまで回答可

- ▶「希望する進学先や就職先（希望の業種・業務内容の企業）がある」が846人と最も多く、本理由により出身市町外への進学を希望している人が58.0%、就職を希望している人が26.1%となっています。
- ▶続いて、「一人暮らしがしたい」483人、「一度、出身市町から出てみたい」350人、「新しい環境でチャレンジしたい」347人の順で多くなっています。



(参考)

令和4年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

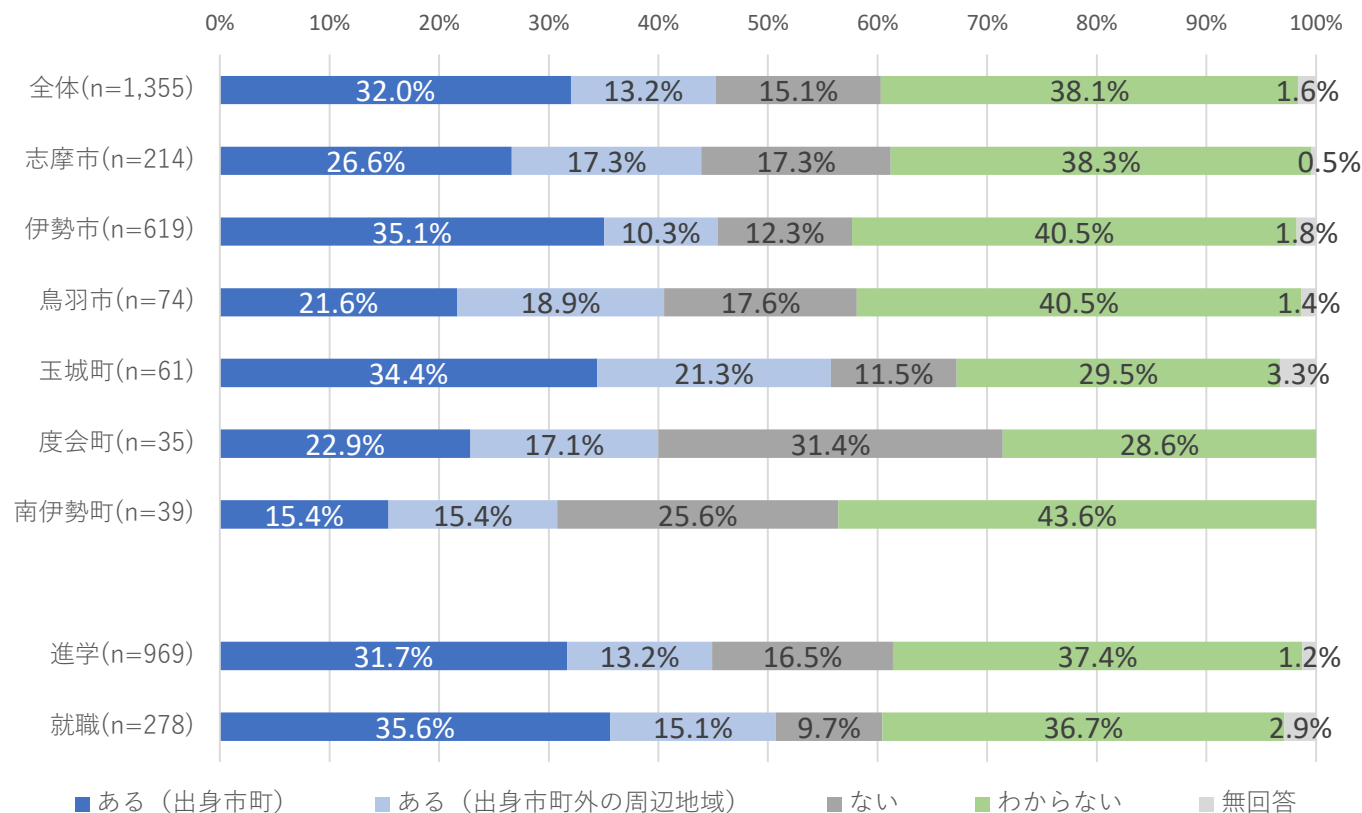
⑪将来、出身市町内やその周辺市町に戻る可能性

将来的に出身市町またはその周辺地域に戻る意思（可能性）の有無

(⑦「三重県内」または「三重県外」回答者)

- ▶「わからない」が**38.1%**で最も多く、続いて「ある（出身市町）」**32.0%**、「ない」**15.1%**、「ある（出身市町外の周辺地域）」**13.2%**の順に多くなっています。
- ▶出身市町別で比較すると、「ある（出身市町）」では伊勢市が**35.1%**、「ある（出身市町外の周辺地域）」では玉城町が**21.3%**、「ない」では度会町が**31.4%**とそれぞれ最も高くなっています。

	人数
ある（出身市町）	434
ある（出身市町外の周辺地域）	179
ない	204
わからない	516
無回答	22
合計	1,355



(参考)

令和4年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

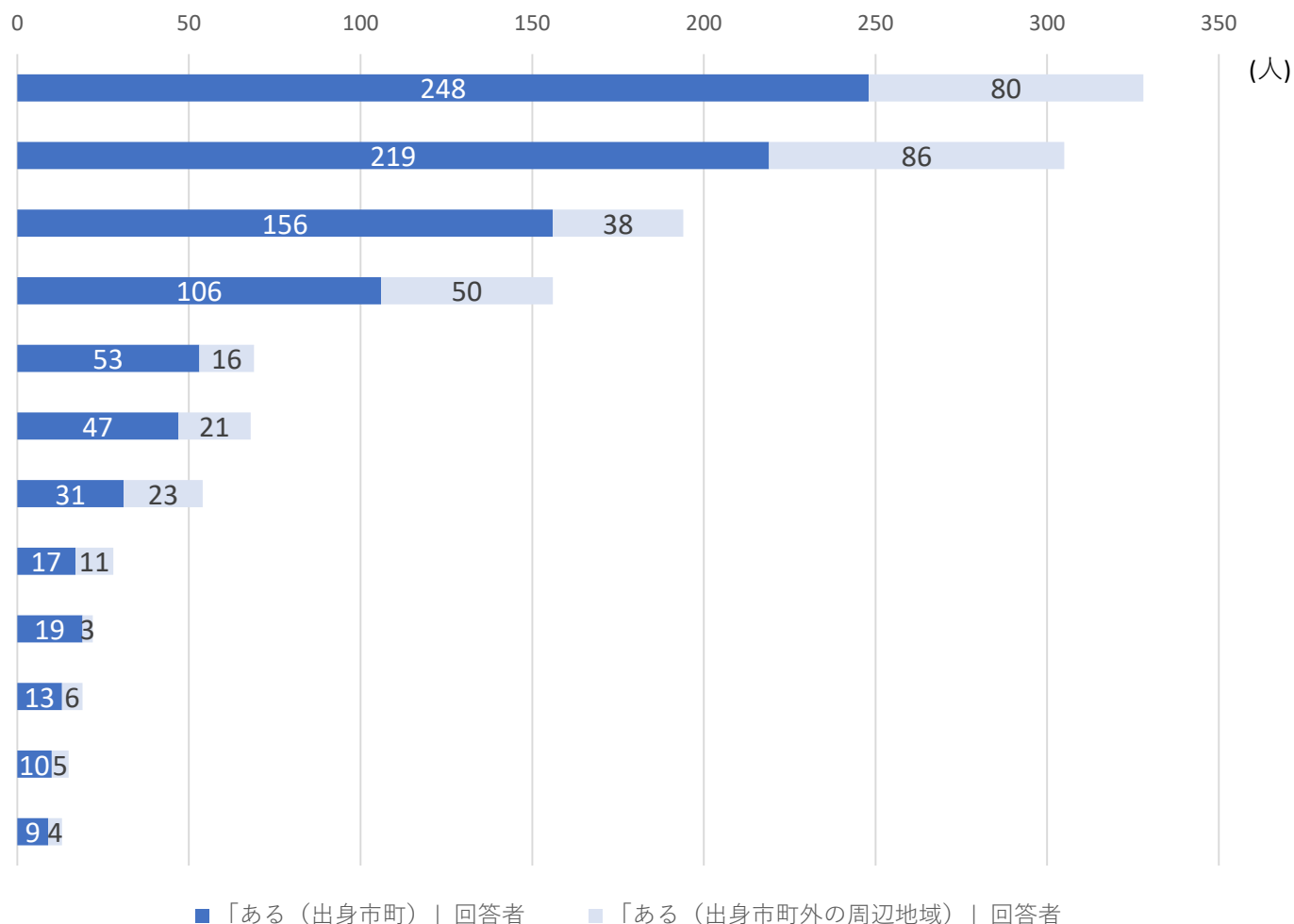
⑫戻る意思（可能性）がある理由

将来的に出身市町またはその周辺地域に戻る意思（可能性）がある理由

（⑪「ある（出身市町）」または「ある（出身市町外の周辺地域）」回答者） ※3つまで回答可

▶「地元に着愛を感じている」が328人と最も多く、続いて「暮らしやすい・子育てしやすい」が305人、「親や兄弟姉妹がいる・実家で暮らしたい」が194人の順で多くなっています。

n=634（無回答除く）	件数
地元に着愛を感じている	328
暮らしやすい・子育てしやすい	305
親や兄弟姉妹がいる・実家で暮らしたい	194
自然・文化・食などの豊かな環境で生活したい	156
就職したい業種・業務内容の企業がある	69
趣味など地元でやりたいことがある	68
親などの介護が必要	54
家を継ぐ必要がある	28
スキルを磨いて、将来の地元を担う中核人物になりたい	22
給料・福利厚生が充実した企業がある	19
地元で起業したい	15
その他	13



（参考）

令和4年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート

<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

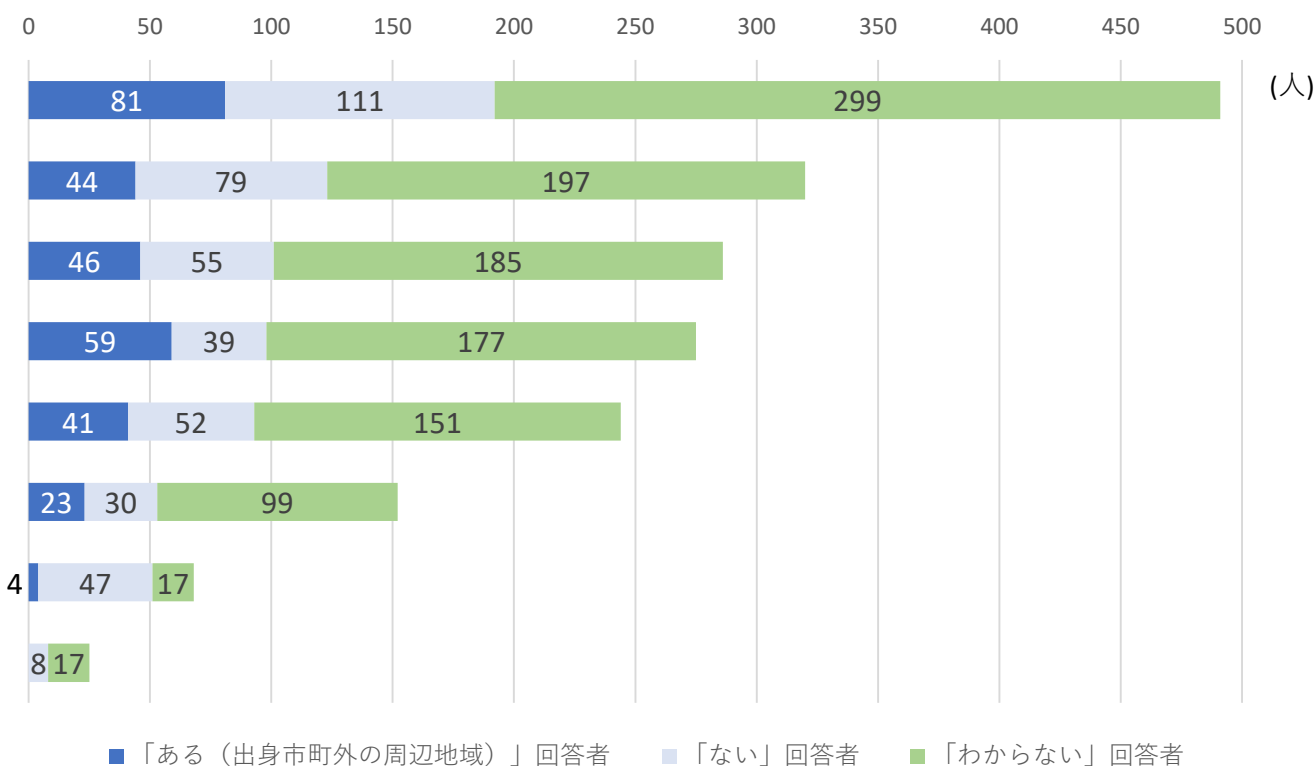
⑬出身市町に戻るために必要なもの

将来的に出身市町に戻るために必要なもの

(⑪「ある（出身市町外の周辺地域）」、「ない」、「わからない」回答者) ※3つまで回答可

▶「充実した商業施設・公共交通網の整備やプライベートを楽しむことができる住環境」が491人と最も多く、続いて、「希望する業種・業務内容の企業の存在」が320人、「県外企業と同程度の給与水準」が286人の順で多くなっています。

n=887（無回答除く）	人数
充実した商業施設・公共交通網の整備やプライベートを楽しむことができる住環境	491
希望する業種・業務内容の企業の存在	320
県外企業と同程度の給与水準	286
福祉・子育てがしやすい生活環境	275
充実した福利厚生のある企業の存在	244
自分を成長させてくれる企業の存在	152
どんな条件が整っていても戻りつもりはない	68
その他	25



(参考)

令和4年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

⑭出身市町に住み続けるために必要なもの（自由記述） ※一部抜粋

【生活の利便性に関する回答】

- ・電車やバスの本数を増やし、交通の便をよくする
- ・遊べるところを増やす
- ・もう少し若者向けの施設をつくる
- ・大きな商業施設を建てる
- ・若者が住み続けたいと思うような住環境を整えることが必要だと思います
- ・交通網を良くする。施設などを増やす
- ・住みやすい環境をつくること
- ・福祉・子育てがしやすい生活環境を整えること
- ・もっと若い人が楽しめる場所をつくる。駐車場などをもっと整備してみんなが使いやすい町にする
- ・ショッピングモールなど楽しめる場所がある
- ・企業を増やしたりみんなが楽しめるような施設をつくる
- ・交通機関の発達。魅力のあるもの
- ・もっと便利な市町にする、都市みたいにお店をいっぱい作る
- ・自然豊かな町であってほしい。活気があってほしい
- ・環境や施設を充実させる。近くに医療・福祉施設をおく
- ・都会みたいな色んな店を沢山作る
- ・充実できる環境にする
- ・安心安全な町にする
- ・地域の差をなくしたり交通をもっと整えること
- ・もっと店を増やしたり、出かけて遊べるところを増やす

【進学や仕事に関する回答】

- ・就職先・進学先の種類が増えれば、県外の必要がないと思っている
- ・情報工学に強い学校があるといい
- ・高校・大学を増やす
- ・三重県には大学が少ないので大学があれば住み続けたいと思う
- ・大学や企業をもっと充実させる必要があると思う
- ・大きな企業をつくる。働くところをつくる
- ・幅広い職種の雇用。大学などの教育機関をもっと増やす
- ・賃金UP,業種の増加
- ・出身町内に企業や会社があればいいと思う
- ・進学、就職先を出身地町に設立する
- ・東京・大阪・名古屋にしか、ないような専門学校などの設置

【地域全般（行政サービス含む）】

- ・都市開発
- ・福利厚生もっとよくして住みやすい町にする
- ・自分の出身地に愛着をもってもらう
- ・この街を愛しつづけること
- ・電車の本数を増やす。給与水準を上げる
- ・地域の活性化
- ・母子や働く人に対してのサービスを増やす
- ・魅力をつくる
- ・若者が遊ぶところを作ってほしい！
- ・若い人たちも住みたいと思うように、もっと栄えた市町にするためにお店を増やしたりする
- ・子育てのしやすい環境、再就職、転職がしやすい仕組み、交通の整備
- ・三重県の活性化!!
- ・色々な企業を取り入れる
- ・もちろん愛着があり、自然の豊かさなど良いところはたくさんあるが、もっと交通整備や都会さなどが必要だと思う
- ・思い出が残り続けるような変わらない町作り
- ・人口の増加と都会化
- ・町おこしなどをして、その町を有名にしたり、保障などを充実させて、住みやすい環境をつくる
- ・観光地をつくる
- ・地域の特色をもっと強めていってよりめずらしい地域にしたら良いと思う
- ・新しい環境をつくるが必要だと思う
- ・病院やスーパーなど子育てがしやすい環境をつくったり、都会になんでもあるように、なんでもあるような場所にしていけばいいと思う
- ・電車の本数を多くする。また安くする。都会同等のファッションや食べ物の店舗。企業の数。地震の対策強化
- ・暮らしやすく、公共交通機関が整っていて、移動などがしやすい
- ・少子高齢化に歯止めをかける対策
- ・住みやすい町づくりをしていくこと、家族が戻って来やすい環境をつくる
- ・税金の使い道をみんなで考える

